

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2011年1月）の予測

発表日：2011年3月1日（火）

～C Iは先行、一致とも3ヶ月連続で上昇する見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ C I一致指数は3ヶ月連続の上昇に

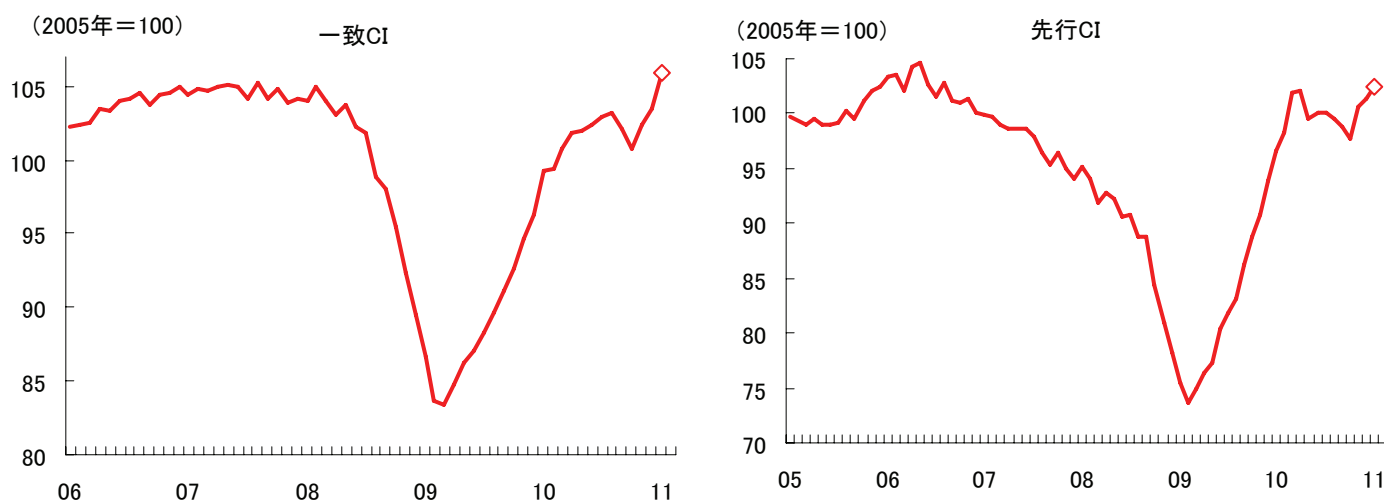
内閣府から3月7日に公表される2011年1月の景気動向指数では、C I一致指数は前月差+2.4ポイントが予想される。これで3ヶ月連続の上昇となり、上昇幅も大きい。景気の持ち直し傾向が明確化していることを示す結果になるだろう。水準で見ても、直近のピークだった2010年8月の103.2を12月、1月とも上回る形になる。1月の内訳では、有効求人倍率や中小企業売上高、所定外労働時間などのプラス寄与が目立つ形になるだろう。

先行きについても、C I一致指数と関連の深い鉱工業生産指数において2、3月に上昇が見込まれていることや、世界景気の回復に伴って輸出の増加が期待されることなどを踏まえると、当面、C Iの上昇傾向は続く可能性が高い。

なお、内閣府によるC I一致指数の基調判断が12月の「足踏み」から「改善」へ上方修正されるためには、3ヶ月移動平均が3ヶ月以上連続して上昇することが必要であるが、1月分の段階ではまだ2ヶ月連続の上昇にとどまっている。そのため、原則として、1月分では「足踏み」の判断が維持される見込みである。「改善」への上方修正は2月分以降になるだろう。ただし、内閣府では、判断変更の基準を満たさない場合でも、「特記すべき事項があれば付記する」としているため、1月分の段階でも「景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。ただし、前月差が3ヶ月連続で上昇するなど、改善の動きも見られる」など、但し書きをつけた上で小幅上方修正を行う可能性があることには注意が必要である。

○ C I先行指数も3ヶ月連続の上昇見込み

C I先行指数も、前月差+1.0ポイントと3ヶ月連続の上昇が予想される。日経商品指数の上昇によって0.4ポイント程度押し上げられている点は割り引いて考えた方が良くと思われるが、それを除いても上昇していることには変わりない。景気の先行きを見る上で明るい材料と言えるだろう。



（出所）内閣府「景気動向指数」。直近の値は第一生命経済研究所予測値